

# 半導体漫遊記

276

## 湯之上隆

コトの発端は、米商

務省のレモンド長官が2021年9月23日、一向に半導体不足が解消しないために、TSMC等に対して「もし520億ドルの補助金を投じる法案を成立させたいのなら」半導体の出荷に関する詳細な情報を45日以内に提出せよ」というような内容の発言を行ったことにある(日経新聞10月21日)。しかし、これはTSMCに対するどう喝であり、この発言が米国の半導体製造強化のための政策を台無しにしてしまうかも

体不足が一向に解消しなことから、下院では未だ可決されていない。そして、この法案が可決されないと補助金を投じることができないのである。

は米国に進出したかったわけでは無い。米国政府が頭を下げて頼み込んできたので、「補助金を出すのなら半導体出荷

を怒らせたのが、21年2月15日にインテルの8代目CEOに就任したバット・ゲルシンガー氏の発言である。ゲルシンガーCEOはフロンティア分野に参入することを表明した上で、米国政府がTSMCに「520億ドルの補助金を出すこと

そのために、米商務省長官がTSMCに「520億ドルの補助金を出すこと

「私はこいつ(ゲルシンガー氏)を含めインテルのCEOを皆知っているが、彼は無礼者だ」「ゲルシンガーが台湾や韓国は非常に危ないと盛んに宣伝している。そして自ら米政府から520億ドルの補助金を得

「こいつ(ゲルシンガー氏)は5年前にも無礼なことがあったが、今もTSMCに対して失礼だ。今日(の講演)はそのお返しをしているだけだ」「もう米国は昔のような(半導体が強い)国に戻ることは不可能だ」と、米国政府は法案を可決することができず、補助金520億ドルを投じることができない。となると、TSMCはアリゾナ工場建設を中止することになる。また、インテルもフロンティア進出を断念するかもしれない。

# 米商務省のどう喝にTSMC猛反発

# アリゾナ工場建設は中止か

の詳細情報を提出せよ」と脅したのである。しかしこれは「米国にMCではなく、我々によせ」と異議を唱え

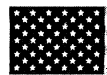
体工場をつくってほしい」と言うことになった。その補助金520億ドルを支出するための法案「U.S. Innovation and Competit ion Act」は、

金は税金である。従って、その補助金はTSMCではなく、我々によせ」と異議を唱え

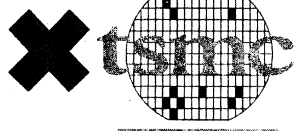
「私はこいつ(ゲルシンガー氏)を含めインテルのCEOを皆知っているが、彼は無礼者だ」「ゲルシンガーが台湾や韓国は非常に危ないと盛んに宣伝している。そして自ら米政府から520億ドルの補助金を得

「こいつ(ゲルシンガー氏)を含めインテルのCEOを皆知っているが、彼は無礼者だ」「ゲルシンガーが台湾や韓国は非常に危ないと盛んに宣伝している。そして自ら米政府から520億ドルの補助金を得

「こいつ(ゲルシンガー氏)を含めインテルのCEOを皆知っているが、彼は無礼者だ」「ゲルシンガーが台湾や韓国は非常に危ないと盛んに宣伝している。そして自ら米政府から520億ドルの補助金を得



intel



C 米国政府やインテルに猛反発するTSMC(微細加工研究所・所長)

もともと、TSMC

6月8日に上院で可決された。しかし、半導

この米商務省の態度で、TSMCの創業者

であるモリス・チャン

しようとしているの

ののだろうか?

決着がついているかもしれない。一体どうなるのだろうか?